

「利用者視点の施設環境づくり」

～質の高い施設環境をつくるためのヒント～

新型コロナにより社会の価値観が大きく変化しつつある今、障害のある方たちの暮らしの場、活動の場の「環境の質」が改めて問われています。新築・改修を問わず施設空間をつくる際には、「建築も支援の一つ」との考え方にに基づき、施設スタッフと建築家とが「環境の質」とは何かを共有し、共に描いていく創造力とことばが重要となります。

本分科会では、「利用者視点」による施設環境づくりというテーマのもと、障害者施設等の施設設計経験の豊富な建築家たちが、施設スタッフや利用者たちに向き合いながら培ってきた、隠れたニーズをあぶり出す洞察力や感性、そして建築的な提案力を紹介し、建築家と共に質の高い環境をつくっていくためのコツやヒントをお伝えします。

登壇者



山脇博紀氏

筑波技術大学産業技術学部産業情報学科 教授

1971年茨城県生まれ。1999年から京都大学大学院にて故外山義教授（高齢者福祉施設研究）に師事し、私自身は障害児者の福祉施設設計画研究に従事。医療福祉建築協会主催の福祉建築基礎講座等で講師講演。設計監修をした「熊本こども総合療育センター（2008）」「熊本県立熊本かがやきの森支援学校（2016）」で医療福祉建築賞を受賞。京都大学博士（工学）。



二井るり子氏

株式会社二井清治建築研究所 副所長

大阪府に行政職として勤めた後、1級建築士の夫とともに福祉施設的设计に携わる。2013年奈良女子大学で博士号（生活環境学）取得。著書に「知的障害のある人のためのバリアフリーデザイン」、「医療福祉施設のインテリアデザイン」、「福祉施設的设计～障害者・子ども・高齢者 地域との共生を目指して」（いずれも彰国社、共著）など。



岩崎直子氏

株式会社ゆう建築設計 常務取締役

2002年 株式会社ゆう建築設計入社。主に障害者・高齢者福祉施設の建築設計に携わる。2012年医療福祉建築賞（特別養護老人ホーム第二天神の社）受賞。2016年より、ゆう建築設計主催の「知的障害者のすまいを考えるセミナー」にて、建築での取組を発信している。



松村正希氏

株式会社莫設計同人 代表取締役

2006年 国立大学法人福井大学で工学博士の学位を授与される。（認知症高齢者・重度障害者の食と住環境に関する仮説と検証）

2011年 こども環境学会デザイン賞、1987年 第5回京都美観風致賞受賞 他、受賞歴多数

著書「愛する人たちへ 日本初のグループホーム型特養の挑戦・中央法規出版（株）発行

絵本「けむしのおなら」2017年、「くじらのおなら」2020年、「だんごむしのおなら」2021年 京都新聞出版センター発行



山崎博央氏

株式会社地域計画建築研究所（アルパック）執行役員

1970年石川県生まれ。京都府立大学大学院生活科学研究科修了後、アルパック入社。「持続可能な地域づくりへの貢献」をミッションに、人と人、人と地域のつながりに注目して施設計画や設計に取り組む。主な実績に「横手通り43番地『庵』」「生活介護・障がい者生活支援センター『若杉』」「あんず三山木」など。